

## 編 集 後 記

私事で恐縮ですが、昨年東京より西日本に引っ越ししました。とうの昔に皆様ご存じのこととは思いますが、井の中の蛙にとっては気づかされるのが多数ありました。言葉、太陽の昇る時間から始まりまして、食べ物（名産品）、自然環境（地震がない、雨が少ない）はもちろん、住民の気質（大人しい？）、運転マナー（横断歩道で止まると予想した車が止まらない）に至るまで、同じ日本と言えど、大分違うということがわかって参りました。県が変わること、人口は1/7.3、面積は3.2倍、大学医学部は1/6.5となりました。地域において神経内科医に求められるものも、患者のニーズも、当然大きく異なってきます。

色々な違いを楽しみつつも、実は地味になかなか慣れないのは、腱反射の記載の仕方の相違です。矢印派、+/-派、数字派と巷には色々な記載の流派がありますが、長くやってきた慣習は簡単には変えられないものだと思います。徐々に頭を柔らかくして慣れていきたいと思っております。

変わらないところもあります。大学病院に紹介されてくる疾患、診察して検査をして診断を進める過程については大きく変わることはありません。これは、医療の標準化が進んできたこととも無縁ではないと思います。診断については標準的な手法をマスターするのは当然という中で、科学的に真摯な態度でオリジナリティーを出すことができるようにするのが個人的な目標です。患者の困っていること、医学生との対話、若い医師とのやりとりについてもあまり変わることはないように思います。

もう一つ変わらないのが臨床神経です（強引ですね）。どこにいても同じようにメールが飛んでくるわけですが、本誌が本邦の神経学のレベル向上に寄与してきたことは間違いありません。どこにいようと、骨のある論文を拝読して勉強するのを楽しみにしております。

（石浦浩之）

## 〈 編 集 委 員 〉

編集委員長	小野寺 理	編集副委員長	三澤 園子
編集幹事	石浦 浩之	漆谷 真	杉江 和馬
編集委員	今井 富裕	木下 真幸子	古賀 政利
			櫻井 圭太
柴田 護	下畑 享良	鈴木 匡子	辻野 彰
			坪井 義夫
			中嶋 秀人
			新野 正明

「臨床神経学」	第63巻 第9号	2023年9月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		西 山 和 利
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル  
日 本 神 經 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>